

みえ熊野の情景 スケッチコンテスト

第6回 入賞/入選作品集

《スケッチ部門》

【最優秀賞】



『須賀利の漁港』 尾鷲市

名張市 都司栄子

【優秀賞】

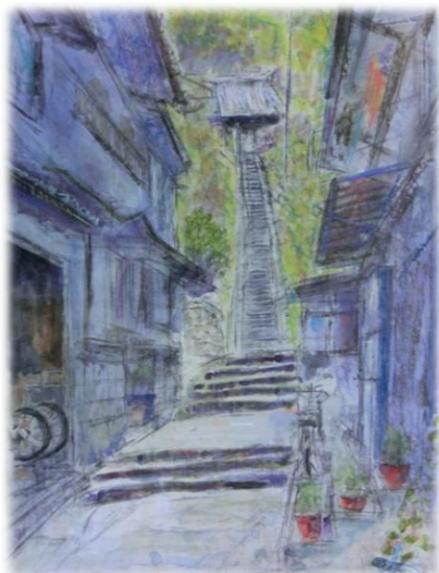


『伊勢えび漁の朝』 尾鷲市

鈴鹿市 杉浦美貴子

朝早く伊勢えびの漁で大にぎわいでした。ていねいに網からかざしている様子が印象に残りました。

【優秀賞】



『普濟寺の参道』 尾鷲市

名張市 板野和郎

昨年の夏、バスで仲間と須賀利漁港を描きに行きました。両側から迫った軒の間から寺への階段、本堂の屋根、山の緑とその向こうに夏空が広がっていました。

講評：梅原幸雄（東京芸術大学教授、日本美術院評議員）



第6回の審査を終えて感じたことは、スケッチ部門、絵てがみ部門ともに力作が多かったことです。また、少しずつ参加者が増えてきたことも嬉しく思います。特に審査中、須賀利の話題になりました。古き良き時代の風景、いつまでも残しておきたい日本の風景の1つとして、より多くの人々に知らせ現地で描き残してほしいと思います。私も今まで1度も行っていませんので、ぜひ機会を作りスケッチしたいと思います。スケッチは現地を旅して、その空気の中で感動し、心に残ったことをメモすることです。今回のスケッチコンテストでは感動を素直に、見たままをあるがままに再現しているスケッチが多く、その心のより強い作品が最優秀賞、優秀賞になったと思います。現地で心の琴線にふれた風景の原点は何かを考え、上手に描くのではなく、自分にわかる形で描き残すことが大切だと思います。今後、このスケッチコンテストがみえ熊野の情景を大切に残すいい機会になればと思います。

講評：田島健次（三重県洋画協会・会長、一水会常任委員）



6回目のスケッチコンテスト。現地の魅力はその場で立ち止まらなと見えてこないと言う思いで今回の応募作品に接しました。最優秀賞の「須賀利の漁港」（都司栄子）や優秀賞の「普濟寺の参道」（板野和郎）らの作品は現場ならではの描写力。審査員特別賞の「あぶり」（金丸竹子）などは食欲の薫りが滲み出るような力作。今回は16才の高校生から83才まで幅広い応募数になり選者側も嬉しい苦心を致しました。やはり現地で直に感じながらアートの視点で向き合っている作品に強くひかれます。その意味で今地揚子、中川淳子、嶋中円香さんらの作品にも注目。また「赤羽の不動さん」（奥田成子）は発想の独自性、「須賀利漁港」（向井慶子）は空間表現などの力量を評価。絵てがみ部門では川口絵里、桑原英雄さんらの丁寧に取り組んでいる姿勢に好感。映画のロケ地になったせいか「須賀利」の題材が多かったことが今回の印象です。

事務局から

今回で第6回目を迎えた「みえ熊野の情景スケッチコンテスト」。スケッチ部門78点、絵てがみ部門31点という多数の応募をいただき、誠にありがとうございました。

今回の審査は、1月16日（水）に、名古屋市内に会場をお借りし、審査員の梅原先生、田島先生にお越しいただき、審査をしていただきました。

質の高い作品が多くあり、時間をかけて審査を行っていただきました。惜しくも選にもれませんが、先生方から励ましの言葉をいただいた作品もいくつかあります。この素晴らしい企画を更に広げていくべきとのお話しもいただきました。回数を重ねるごとに、より広い年齢層、エリアからレベルの高い作品の応募が増えていると実感しております。今後とも更に広く周知し、映画の撮影場所になった須賀利を含め、この素晴らしい東紀州のロケーションを多くの方に知っていただけるように広くPRを行ってまいります。

最後になりましたが、出展者のみなさまをはじめ審査員の先生方には大変お世話になりました。厚く御礼申し上げます。

「みえ熊野の情景スケッチコンテスト」事務局
東紀州観光まちづくり公社/東紀州地域観光圏協議会

■紀北事務所
三重県尾鷲市坂場西町1-1(三重県尾鷲庁舎内)
TEL. 0597-23-3784 FAX. 0597-23-3785

■紀南事務所
三重県熊野市井戸町371(三重県熊野庁舎内)
TEL. 0597-89-6172 FAX. 0597-89-6184

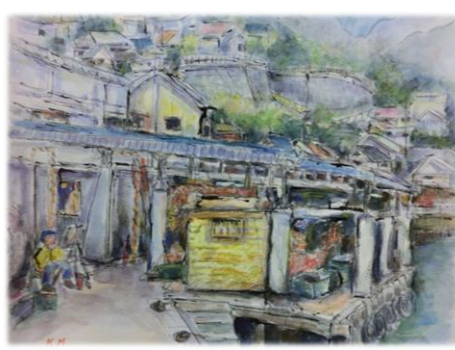
(審査員特別賞)



『あぶり』 尾鷲市
鈴鹿市 金丸竹子

テレビであぶりをやっているのを見て、一度食べてみたくなり友人と二人でスケッチ方々買いに行きました。

(審査員特別賞)



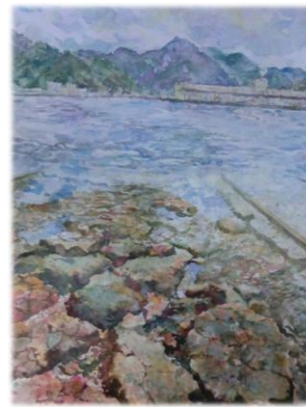
『風待ち港』 尾鷲市
名張市 宮澤和代

(入選)



『遊木漁港』 熊野市
名張市 野木順子

(入選)



尾鷲高校 高村美幸
『尾鷲港』 尾鷲市

石にも色々な形や割れ方や色があり、そのおもしろさを表現できるように頑張りました。

(入選)



『神社の大楠』 尾鷲市
阪南市 松島和生

港に通ずる道路沿いに尾鷲神社がある。神社には樹齢1000年を超える夫婦の大楠がある。道路に覆いかぶさるように堂々としている。幹には逞しく枝葉はまるで緑の雲のようだすごい生命力を感じる。丁度七五三の前日で人も大勢、子供達もこの楠の力を授かることだろう。神社の看板にはこの大楠は天然記念物と記されていた。納得。

(入選)



『夏の須賀利漁港』 尾鷲市
津市 岩脇佐代子

尾鷲は須賀利の海に生きる人達と、ひたひたと押し寄せるさじ波にたゆたう船溜がたまらなく美しい。

(入選)



『須賀利の港』 尾鷲市
津市 前田茂世

初めて訪れた須賀利。残念な事に船便最後の日でした。須賀利の婦人会の人達にお屋のおにぎりや珍しいお菓子など作って頂きとてもおいしかったです。お寺の彫刻や、和尚様の話など興味深く、船便のなくなるのを残念に思いました。

(入選)



『須賀利漁港』 尾鷲市
津市 向井慶子

自然に恵まれた漁港は太陽に輝いている。潮の香りもさわやかに吹き抜ける、そんな須賀利漁港を描きました。

(入選)



尾鷲市 中村 清
『峠路』 尾鷲市

荷物を背負う馬や商人達のゆく峠路。廣重の道中版画とかさねて、しばし時を忘れました。

(入選)



大台町 山路葉子
『馬越峠のお地藏様』 紀北町

10月11日~12日東紀州観光公社の方々のお世話で須賀利、馬越峠に松阪絵画グループ皆さんでスケッチ旅行。幸せな時間を過ごさせて頂きました。馬越峠で一休みした時に合ったお地藏様をスケッチ致しました。

(入選)



『石垣のある山里』 熊野市
尾鷲市 倉本洋一

巧みに何段にも石を積み上げ、田畑を切り開き、今もその暮らし振りが残る石垣のある山里の風景。

(入選)



『須賀利の漁港』 尾鷲市
伊賀市 奥田旬子

(入選)



津市 今地揚子
『参道』 尾鷲市

のどかな漁師の町なみ、狭い道路をぬけると急な階段の普濟寺の境内に入る。海、山、島、漁師町の温もりとやすらぎを思い、いつまでもながめたい素晴らしい須賀利の風景！！

(入選)



『漁港の屋下がり』 尾鷲市
名張市 宮地昌子

(入選)



『収穫を待つ丸山千枚田』 熊野市
紀宝町 上地浩史

収穫前の丸山千枚田。見事に黄金色に染まった棚田はなんだかホッと暖かい気持ちにさせてくれます。棚田を保存し続けることの苦労は並大抵のものではないと思います。心から感謝です。

(入選)



『熊野古道 八鬼山越え 長柄踏切』 尾鷲市
紀北町 岩清水 勝

古道と鉄道との出合いの踏切です。ここは軽自動車以上は通行出来ません。スケッチの間、ゆるやかに時間が流れて人通りがありません。八鬼山峠は一番奥の山の山頂にあります。

(入選)



『夏』 熊野市
木本高校 嶋中円香

夏休みの日差しが強いとこにすわって描きました。今はもうこの家はなくなってしまっていて、もう見ることはできないので、最後に描けて良かったと思います。

(入選)



津市 鹿間 剛
『夏・須賀利』 尾鷲市

高台普濟寺から見下ろすと、真夏の太陽の光を浴び銀色に輝く民家の屋根瓦、そして石段から路地の先は真っ青な海！私が描きたい透明水彩の題材にピッタリでした。

(入選)



『須賀利の家並』 尾鷲市
津市 豊田陽男

何度来ても絵になる風景にことかかない須賀利。まさに日本漁村の原風景。

(入選)



『漁港の活気』 紀北町
鈴鹿市 渡部明美

活気ある漁港の雰囲気表現したかった。働く人たちの力強い動きをとらえる線の描写が難しかった。

(入選)



四日市市 中川淳子
『尾鷲の遠景』 尾鷲市

馬越峠を孫と散歩して帰り道にて尾鷲の風景に感動しました。

(入選)



津市 和田はる子
『村嶋不動尊』 尾鷲市

熊野古道センターを下った所に滝があり、その隣であざみ満開の中でひっそりとたたずんでいました。

(入選)



紀北町 奥田成子
『赤羽の不動さん』 紀北町

「赤羽の不動さん」の名で知られる大原不動堂は、昔から海難よけの守護神として漁業者や他人から熱い信仰で慕われています。毎年1月28日は『フドウサン』と呼ばれ以前は参道の入り口から境内まで出店が続いて、とても賑わったそうです。今も昔も変わらぬ信仰を集めています。